



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ mail@ken-nonoyama.com

No.531 2019.10.2

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

消費税 10%を強行

北区は国の言いなりに増税を容認



1日、安倍政権は、国民の強い反対と危惧の声を無視して、消費税10%増税を強行しました。国民の暮らしの悪化も、景気と経済を壊すこともかえりみないこの暴挙に、厳しく抗議するものです。

開会中の区議会第3回定例会では、自民・公明などが「消費税は社会保障のために使われる」などと、増税をけしかける一方、日本共産党は最後まで、増税中止を国に求めるよう花川区長に迫ってきました。

ところが、代表区は、代表質問の答弁で「中止を求めるとは考えていない」と明言し、新年度版の「ふるさと北区財政白書」(平成30年度決算版)では、消費税を「社会保障財源を調達する手段としてふさわしい税金」として、国の言いなりに増税を容認する立場を鮮明にしています。

私は、決算特別委員会でも、「国民に負担を押し付けるのではなく、社会保障の財源は負担能力のある大企業や富裕層に求めるべき」と、増税を認める区の姿勢を質しました。(のの山けん)

- 社会保障制度のための安定財源 (社会保障財源を調達する手段としてふさわしい税金)
 - ・ 景気や人口構成の変化に左右されにくく、税収が安定的
 - ・ 働く世代など特定の人に負担が集中することなく、経済活動に中立的
 - ・ 高い財源調達力

消費税を「ふさわしい税金」と記述 (「ふるさと北区財政白書」より)

消費税を5%に減税し、景気回復を

日本共産党が「よびかけ」発表



消費税5%に減税をと訴える志位和夫委員長=1日、新宿駅西口

消費税10%への引き上げに際し、日本共産党は「5%への減税で景気回復を」とする「よびかけ」を発表しました。31年間で消費税収が397兆円となる一方、大企業と富裕層への減税・優遇税制で、法人3税の税収は298兆円、所得税・住民税は275兆円も減に。消費税は社会保障のためどころか、大企業と富裕層の減税の「穴埋め」に使われてきました。廃止を展望し、当面減税の実現へ、全力をあげます。

決算特別委での質疑より

区議会決算特別委員会で私が行った質疑の一部を紹介しします。(のの山けん)

まちづくり

赤羽のまちづくりは、幅広い住民の参画で

東口駅前再開発が具体化する下で、赤羽駅周辺のまちづくりが加速する勢いです。先行している第一地区に続き、第二地区の再開発が具体化すれば、駅前に100メートル級のタワーマンションが建ち並び、商店街や赤羽小学校にも影響が広がります。

私は、「まちづくり懇談会」を開催し、赤羽のまちづくりについて、関係住民、商店街、学校関係者などが自由に討論できる場を保障するよう求めました。

国民健康保険

子どもの均等割減免で国保料負担軽減を

国民健康保険は、低所得層が多いのに、中小企業の従業員などが加入する「協会けんぽ」と比べて保険料が2倍にもなっており、制度の「構造問題」が指摘されています。

都道府県化された昨年度も、保険料は下がるどころか引き上げに。国は、さらに保険料の値上げを促進する自治体による一般会計からの繰り入れ解消を強要しています。

私は、北区が率先して子どもの均等割独自減免にふみきるよう、強く要望しました。

秋のぶどう狩り

志茂・赤羽後援会日帰りバス旅行

9月29日、日本共産党志茂・赤羽後援会の日帰りバス旅行に参加。今回は、秋の味覚・ぶどう狩りと足利学校をめざす、栃木の旅です。

午前8時に赤羽を出発したバスは、高速道路を順調に駆け抜け、10時前に足利学校に到着。室町時代の創建といわれる当時のたたずまいが保存さ



日本で最古の学校、国指定史跡の「足利学校」を見学



たわわに実ったぶどうの房を狩り取る

れ、日本遺産の認定にふさわしい史跡でした。

続いて、小山グランドホテルでの昼食。バイキングでの美味しい料理が好評でした。

道の駅「思川」に立ち寄った後、太平山南麓でのぶどう狩りへ。自分で狩り取った1房と、お店から2房のプレゼントで、3房の持ち帰りに、参加者も狂喜乱舞。

絶好の好天にも恵まれ、教養と美食の魅力に満ちた、秋の旅行となりました。(のの山けん)